

東京都建設局の被害の軽減に向けた治水対策の推進（調節池等の整備）

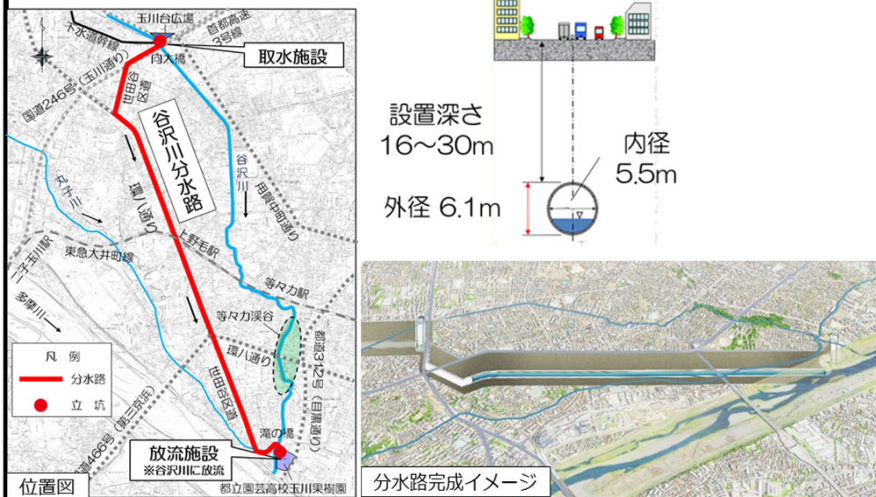
○年超過確率1/20の降雨（区部時間最大75ミリ、多摩時間最大65ミリ）への対応に向け、調節池等の整備を推進しています。

取組内容

多摩川流域において整備中の調節池等

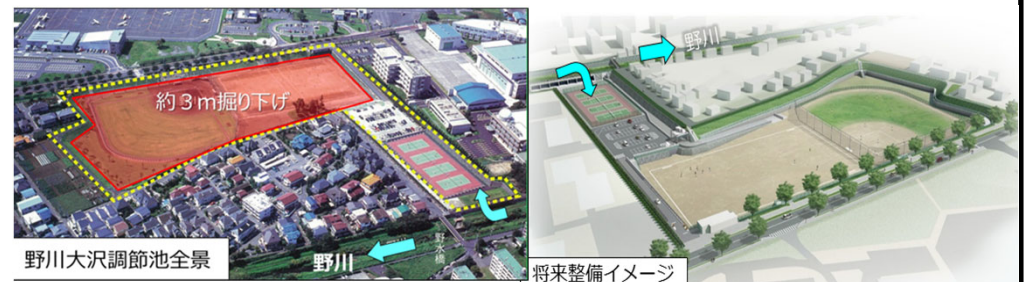
谷沢川分水路（令和6年度稼働予定）

時間最大75ミリ降雨への対応として、道路の地下等を活用した分水路を整備



野川大沢調節池（規模拡大）（令和3年11月本格稼働開始）

時間最大65ミリ降雨への対応として既存の野川大沢調節池（堀込式）を約3m掘り下げることで現在の貯留量から約6.8万 m^3 拡大し、約15.8万 m^3 の貯留量を確保



今後の取組（都内全域）

- ・ 令和7年度までに現在整備中の7調節池を稼働させ、総貯留量を約256万 m^3 から約360万 m^3 へ拡大
- ・ 令和12年度までに新たに約150万 m^3 の調節池を事業化